

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) コクガクインダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ミヤシタゼミナール
國學院大學	経済学部	宮下ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ) グッドオフ	フリガナ) ヨシザワユキ	4	無
GOOD OFF	吉澤由貴		

研究テーマ（発表タイトル）
大学における防災意識向上のための非常食メニュー

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

大学生を対象にした防災教育が行われていないことによる大学生の防災意識の低下を防ぐための非常食メニュー

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

地震大国日本において、地震という自然災害から逃れることは難しく、今後も南海トラフ地震や首都直下地震など、大地震が起きることが予測されている。内閣府では、防災意識の課題として「地震・津波に対する防災教育の必要性・重要性」を掲げている。しかし、現状行われている防災意識向上の取り組みには大学生対象のものが多くない。

3. 研究テーマの課題

大学での防災に関する取り組みとして、「ホームページへのマニュアル掲載、防災に関する講演会の実施」などが行われているが、独自アンケートによると、そういった大学の取り組みを耳にしたことがない人は 70.1%と、認知度は非常に低いということがわかった。防災情報を知らないことにより、地震が起こった際に避難の仕方がわからないということや、非常時の生活に対応できないということが予想される。

Q「大学で防災に関する情報を耳にしたことがありますか？」



Q「大学で地震に遭ったとき、どうすればいいか考えたことはありますか？」



4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

学生の防災意識を向上するために、大学の学食で非常食を取り入れたメニューを提供する。

- ① 一般的な食材と非常食を組み合わせることで、非常時の食事がどのようなものか食べ慣れることができる。
- ② メニューに防災グッズをつけ、実際に防災グッズを所持してもらうことで特に外出先での被災に対する意識向上をめざす。
- ③ トレーに非常食企業の広告と防災に関する情報を載せることで、学生の非常食の認知・防災意識の向上をはかる。
- ④ 価格の一部を学校の支援と企業広告の収入によって補い、低価格で販売する。通常の学食メニューに比べ価格設定を低くすることで、多くの人に興味を示し、手にとりやすくする。

この4つの特徴をもった非常食メニューを提供することで、食べることをきっかけに、防災意識の向上を図る。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

「今後学食の通常メニューと同じ値段で、お米を非常用米に変えたメニュー（防災グッズ付き）が売っていたら食べてみたいですか」という質問に対し、64.3%の人が「食べてみたい」と回答している。

ヒアリング調査の結果・・・

6. 結果や今後の取り組み

アンケートの結果、64.3%の人が実際に非常食メニューを食べてみたいと回答しており、実際にメニューの提供を始めた場合に、多くの学生が利用することが予想できる。

國學院大學職員へのヒアリング調査の結果、「防災意識向上のために“食”を利用したこのアイデアは、敷居も低く、実施するに当たって実現可能性もあり、検討の余地があります」との回答が得られ、大学側も学生の防災意識の低さを問題視しており、このアイデアを使い大学生の防災意識を向上させようという取り組みは大学にとってもメリットがあり実現可能性は高いと考えられる。応用の利くアイデアであるため、朝食メニューの金銭的支援のように、各大学でこのメニューへの金銭的支援が得られた場合、様々な大学での開催も期待される。

7. 参考文献

内閣府 防災情報のページ 地震

<http://www.bousai.go.jp/jishin/index.html>

防災食アンケート結果 ミドリ安全.com

http://ec.midori-anzen.com/shop/contents1/p_recipe-press.aspx

備えておきたい非常食おすすめ15選。CAFY

<https://cafy.jp/29198>

[ASKUL]非常食 通販

<http://www.askul.co.jp/s/15-0618-0618001-06180010004/>

マルハニチロホールディングス「非常食と缶詰に関する調査」

<https://www.maruha->

[nichiro.co.jp/news_center/research/pdf/20120830_hijosyoku_kandume.pdf#search=%27%E9%9D%9E%E5%B8%B8%E9%A3%9F+%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%27](https://www.maruha-nichiro.co.jp/news_center/research/pdf/20120830_hijosyoku_kandume.pdf#search=%27%E9%9D%9E%E5%B8%B8%E9%A3%9F+%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%27)

災害非常食レシピ cookpad

<http://cookpad.com/recipe/3718144>

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時か

らのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。